

＜様式 8＞業務フロー・コスト分析実施結果報告表

業務フロー・コスト分析 実施結果報告表			
府省等名 地方公共団体名	自動車検査独立行政法人	部局名	企画部
対象事業名	継続検査を中心とする審査業務 (保安コースにおける審査業務)	実施期間	平成26年5月～8月
事業の概要	自動車の安全確保と環境保全を図ることを目的として、自動車検査に関する業務のうち、自動車が保安基準に適合するかどうかの審査及びこれに付随する業務を行います。		
改善が必要な事務区分（その理由）	保安コースにおける審査業務（継続検査） 【理由】 認証工場受検とユーザー受検には審査時間に差異があることから、認証工場受検のみを対象としたコースを設定することにより認証工場受検の審査車両1台当たりの審査時間を削減する余地がある。		
講じた改善措置	【対応】 ①認証工場受検専用コースの設定 マルチテストが複数ある事務所（※1）において認証工場受検のみを対象としたコースを設定し、ユーザー受検と認証工場受検の受検コースの分離を図るため、平成27年1月より八王子事務所において取組みを開始し検証を始めたところ。 平成27年7月 運用に係る課題の取りまとめ 平成27年10月以降 課題への対策を講じた上で、準備の整った事務所より順次運用開始 ※1 平成27年1月現在 49事務所 ②標準作業時間の把握 継続検査の審査時間の実測を他の事務所においても順次進め、標準作業時間を把握する。		
その効果	①の受検コース分離の取組によって、認証工場受検の車両1台あたり40秒程度の検査時間が減少する。これによりコース稼働時間の短縮を図る（※2）ことで、1コースについて、従来より一日あたり1時間程度閉鎖の前倒しが可能となり、その分職員を早期に執務室に戻らせ書面審査等を行わせれば、当該職員の超過勤務を縮減する効果（※3）が期待される。 ※2 認証工場受検のうち2/3（八王子事務所であれば、月2,000台）程度が専用コースで受検すると、コース稼働時間が一月あたり22時間程度短縮される。これにより、1コースについて一日あたり1時間程度閉鎖の前倒しが可能となる。 ※3 超過勤務時間の削減により、年間約4,000万円の支出削減効果が期待される。 ②の取組によって、標準作業時間を、各事務所の平均時間との差異を整理するための指標として用いることにより、ベストプラクティスや課題を洗い出すことができ、必要に応じて、当該ベストプラクティスや課題対応策を他の事務所に展開するなどにより法人全体としての業務効率化が期待される。		